



平成14年7月17日

ここのえ町

第58号

発行/九重町議会

T079-4003
大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1

☎ 09737-6-3814

編集/議会広報編集委員会

印刷/尾花印刷有限会社

議会だより



シーズンを迎えた泉水キャンプ場開き（安全祈願祭）

6
月
定
例
会

●第2回定例会

P.2

●陳情・請願・発議

P.3~4

●特別委員会（中間報告）

P.4~5

●一般質問（3名登壇）

P.6~8

●わたしのひとこと

南山田 藤澤 美保さん P.9

東飯田 吉武喜代子さん

●こんな町にしてほしい

東飯田小学校6年 小幡 まいさん P.10

第2回定例会

本定例会は6月11日から19日までの9日間開催されました。
議案10件、発議3件、請願2件、陳情3件を慎重に審議しました。

監査委員

飯田英吉氏の
再任に同意



(岩の上)

監査委員の飯田英吉氏が平成14年6月18日で任期満了となるため、同氏を監査委員として再任することを、満場一致で同意しました。

人権擁護委員

佐藤信義氏の
推薦に同意



(後 辻)

平成14年5月31日付けで解職した、永松克興氏の後任の人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦したため、満場一致で同意しました。



飯田小学校大規模改造 (11期工事)

- 飯田小学校大規模改造 16,642万円
- 恵良住宅建設事業設計委託 1,636万円
- 宝泉寺栗原線改良工事設計委託 2,388万円

議会の動き

4月1日	佐世保市制百周年記念式典参加
2日	佐世保市視察
5日	議会広報特別委員会
9日	全員協議会
10日	県議長会理事會
17日、18日	市町村合併対策特別委員会視察(熊本県)
19日	建設産業常任委員会巡視
22日	教育民生常任委員会巡視
23日	市町村合併対策特別委員会
24日	総務財政常任委員会巡視
30日	日田玖珠広域議長會
5月1日	三町連絡協議会總會
1日	久大地区活性化議長連絡協議會
2日	日出生台演習場周辺施設整備期成会總會
8日	議長・議運正副委員長研修會
8日	委員長會
13日	全員協議會
13日	全国議長研修會
16日	鳴子川溪谷周辺整備事業集へ要望
17日	郡議長會總會
20日	玖珠町・九重町市町村合併対策正副委員長會
20日	鳴子川周辺調査特別委員会
20日	玖珠郡任意合併協議會設立總會

みなさん方の陳情や 請願はこうなりました。

陳情

寺田区長 太田隆夫氏から
の町道下双石小久保線の
改修については、

更に調査検討を要するため、
継続審査とすることで
意見の一致をみました。

玖珠郡森林組合代表理事
組合長 佐藤三千代氏から
の森林・林業・木材産業政
策に関する意見書の提出を
求める要望については、

長引く木材価格の低迷に
より林業経営は危機に瀕し
ており、経営意欲の減退か
ら林業生産活動は停滞し、
森林の荒廃も懸念される中、
国産材の需要拡大や健全な
森林の育成を推進する上で
も趣旨に賛同できる。よっ
て採択する事で意見の一致
をみました。

中央四区長 由迫新一郎
氏、中央五区長 日隈松男
氏からの町道編入について
は、

現状においては、町道認
定の要件を満たしていない
ため不採択とする事で意見
の一致をみました。



社会民主党大分県連合代
表 重野安正氏・大分県平
和運動センター議長 岩崎
正文氏よりの有事関連三法
案に反対する意見書の提出
については、

現在、国会で審議中であ
るが法案内容の不透明性や
問題点等が報道される中で
更に調査、研究の必要性が
あり国会審議の動向をみな
がら継続審査とすることで
意見の一致をみました。

請願

大分県教職員組合玖珠支
部執行委員長 後藤健児氏
からの、学校事務職員、栄
養職員の人員費半額国庫負
担制度を堅持し、義務教育
費国庫負担制度の見直し反
対に関する請願については、

義務教育費国庫負担制度
の見直しが行われると、地
方自治体負担の増大につな
がり財政危機を招く恐れが
あるため、採択することで
意見の一致をみました。

日本平和委員会玖珠郡委
員会事務局長 熊谷豊広氏
からの、有事法制関連法案
の撤回を求める意見書の提
出を要望する請願について
は、

現在、国会で審議中であ
るが法案内容の不透明性や
問題点等が報道される中で
更に研究、調査の必要性が
あり、継続審査とすること
で意見の一致をみました。

発議

学校事務職員、栄養職員
の人員費半額国庫負担制度
を堅持し、義務教育費国庫
負担制度の見直し反対に関
する意見書

日本国憲法の「義務教育
費無償の原則」を受けて、
義務教育が国民の教育をう
ける権利を保障するもので
あり現行の義務教育費国庫
負担制度は、教育の機会均
等とその水準の維持、向上
のため今日まで大きな役割
を果たしてきたが、財務省
は公立小、中学校の学校事
務職員および栄養職員の「人
件費適用除外」を昭和59年
11月発表以来、昨年12月の
地方分権改革会議の「中間
論点整理」で学校事務職員
の配置の必要性等は各自治
体の裁量に委ねると明記し、
学校事務職員、栄養職員の
賃金は全額都道府県負担と
なり、財政危機が深刻化す
るなかで、定数削減は必至
です。よって、学校事務職
員、栄養職員の人員費を国
庫負担制度から適用除外し
ないで義務教育費国庫負担
制度を堅持すること。



野上小学校職員室

25日	玖珠郡任意合併協議会
24日	市町村合併行政協議会
19日	市町村合併協議会
14日	教育民生常任委員会
13日	建設産業常任委員会
12日	本会議（一般質問）
11日	本会議（開会）
5日	議会運営委員会
3日	議会広報特別委員会
6月	全議員協議会
24日	本会議（開会）
23日	教育民生常任委員会
20日	知事と市町村議会議員との懇話会
20日	市町村合併協議会
20日	市町村合併協議会

発議

森林・林業・木材産業政策に関する意見書

一、(循環型森林産業の確立対策)

森林の有する水源かん養、地球温暖化防止等多様な機能を高度に発揮させるため、伐採、利用、植栽、保育といった森林産業の円滑な循環が不可欠であり、昨年新たに制定された「森林・林業基本計画」に定める国産材の自給量や国産材供給体制の整備等に関する目標が着実に達成されるよう万全の施策確立に取り組むこと。

二、(国産材の利用促進対策)
新設住宅着工戸数の速やかな回復が見込めない現状の中で、国産材需要を拡大していくため、公共施設、民間施設を問わず木造化を推進するとともに、土木事業等への木材の利活用を一層促進すること。

三、(公的資金による森林の造成、管理の推進対策)
林業の採算性が大幅に悪

化していることから、伐採跡地の未植栽や手入の行き届かない放置林が増加している。健全な森林を育成していくため、公的資金による森林管理を推進するとともに、公社、公団等公的機関による森林整備を拡充すること。

四、上記3項目の実現に向けた財源を確保するため、森林環境税等目的税の創設について早急に措置すること。

市町村合併対策特別委員会中間報告

市町村を取り巻く情勢は、少子高齢化、地方分権、著しい財政の悪化等で行財政基盤の強化等で市町村合併問題が議論されており、自主的、主体的に取り組むべき課題であり議会においても調査、検討が必要であり平成14年1月24日に市町村合併対策特別委員会を設置し、4回の委員会や全員協

議会等重ね先進的に取り組んでいる。熊本県中球磨五か町村合併協議会、宇城西部五か町村合併協議会を視察し、中では合併は四町五町と多い方が効果も良く望ましい。人口も5万人を目標に協議会を早く立ち上げ、住民を含め将来の地域作りの議論を早急に行う必要がある。町村長の意思決定を早く出し、住民への情報提

供や意見の聴取を進めながら合併協議会を早期立ち上げて、玖珠との合併を基軸にしながら5万人を目指すことを確認し、執行部が行う市町村合併を考える行政区懇談会に出席し、住民の意見を幅広く聞き、今後の参考として調査研究を進めながら、方向性を見いだしていきたいと思います。



玖珠郡森林組合材木市場



農協組合内に設置された玖珠郡任意合併協議会事務所

鳴子川周辺調査特別委員会「中間報告Ⅱ」

鳴子川整備事業

実施計画画吊り橋本体

▼**園路** 延長200m幅員5mとする。

▼**駐車場** 公共としては100〜150台程度として後は民活による有料を協議していく。

▼**休養施設** ベンチ方式として必要数を設置する。

▼**電気照明** 夜間の防犯灯としても必要であり、事業にマッチするものとする。

▼**安全施設** 手すり、欄の設置等、充分な対応を行う。

▼**用地** テナント及び必要用地については鑑定単価を上限として最小限を基本とするが交渉等による判断で柔軟に確保する。

▼**施設運営** 施設及びテナント等の町が確保した用地は町が運営し、民活で参入した部分は民の運営とする。

▼**北方エリア**

▼**園路** 延長400m、幅員5mとする。

▼**駐車場** 公共としては30台程度として後は民活による有料を協議していく。

▼**休養施設** ベンチ方式と

して必要数を設置するが展望台については用地確保をして、民活とも併せ必要時に対応する。

▼**電気照明・安全施設・施設運営** 中村エリアに同じ。

▼**用地** 中村エリアに同じであるが展望台の部分の確保する。

委員会の指摘及び要請事項

食堂や販売所等はテナント方式として基本的に駐車場周辺に限定することが望ましい。

園路にフェンス等を工作し、両脇に販売店等の無秩序な乱立を防ぎ景観を守る必要がある。また、条例による規制も考えられるのではない。

園路の幅員については緊急時を考慮の上、再検討を望む。

防護柵などは、かなりの工事費になると思われるが管理責任を問われることが

ら安全対策には格段の配慮を望む。

中村エリアは県道バイパスが必要不可欠で取り付け位置や距離短縮等の変更があつたとしても進入路として足りうるものでなければならぬ。北方エリアの作業道については進入路としての利用を考えるならば端っこではなく中に入るべきで、保安林や文化財については適切な対応を望む。

以上、今後関係機関に積極的な働きかけが必要であると考える。

（県の動向）（参考）

鳴子川周辺整備事業に伴う県道飯田高原中村線「バイパス事業」の推進と河川整備事業「震動の滝周辺散策道」の設置について、県は理解を示しているもので道の動きが鈍いということを追跡、河川課に要望している。県道飯田高原中村線については猪半田ダム地域振興策に係る部分の改良もあり県の厳しい財政事情の中で予算配分や優先順位等が絡みバイパスルートの変更等が心配される。河川整備については必要だという認識があり予算を含み体制は整っていると考えられる。



震動の滝

私の一般質問

6月12日に3名が質問しました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

江藤 一幸



事業評価システム 導入できないか

問 町民が事業の必要度を点数で判断する、外部事業評価システム導入はできないか。

答 行政内部の評価も大事だが、それ以上に主人公である町民の評価に耐え得る事業展開が大事だ。将来的に導入のための調査研究をされてはどうか。

〈十分に検討する〉

答 外部からの事業評価は今取り組んでおりません。町づくり委員会等々でやっていくべきかなど、その辺については十分に検討していきたい。

定住促進団地

「都原」の今後

問 ただ今造成中ですが、今後の具体的な販売スケジュールや坪単価、販売方法等の予定はどうなっているのか。

〈具体的スケジュール 全くない〉

答 13区画を宅地分譲しますが、今のところまだ具体的スケジュール全くない。単価もおおその目安で検討、これから具体的に先例地の

調査をしながら詰めていく。

高齢者の健康増進と 生きがい対策

問 高齢者の健康管理を強化に進めたらどうか。意識調査、ニーズ調査等を実施し、それらを取り入れた施策はどうか。生きがい対策と健康増進は車の両輪、施政方針の「地産地消の推進」「グリーンツーリズムの推進」の分野で高齢者パワーを生かしたらどうか。

〈働くことが生きがい〉

答 保健センターを中心に、老人クラブの方々の協力をいただきながら、事業の推進に努めています。「働くことが生きがい」と意識調査に表れています。グリーンツーリズムもやっていますし、ブルーベリー栽培等を老人や女性の方に生きがいを進めています。

「亀鶴苑」と 「旧焼却場」 どうする

問 亀鶴苑は、ゴールドプランにH11年改築と記されているが、どうなっているのか。早期に大規模改築が必要だ。玖珠清掃センター旧焼却場の解体予定と予算は。

〈十分に議論する〉

答 亀鶴苑、今の財政状況、経済状況をかんがみながらこれからの計画議論していく。旧焼却場の解体、最小で1億5000万円、最大で15億ぐらい、来年から壊す予算を組む。



老朽化が著しく、施設の改築が望まれる「亀鶴苑」

市町村合併を考える

基本的問題点について



井上智昭

問 今回の市町村合併の動きが、ここまで急速に広がっている理由はなによりも、政府内閣が推進している事があり、合併の是非を町民が、意志を示すという場合、市町村合併をめぐる公的、正統的な情報資料が十分提供されなければなりません。それは本来行政の最小限の責任です。実際行政が、発行している資料を見ると、総務省の議論の引き出しや、焼直しなどが多く一方的な論議が主な内容になっているものも少なくありません。それぞれの地域で市町村合併問題を考える際の、もっとも基本的な立場は、第一に住民の利益を守ること。住民の自治を広げ尊重する見地を守ること。その立場に立つての姿勢を伺いたい。

①自治体の財政について現況を踏まえての将来の見通しはどうか。②住民の自治、住民の声について行政や議会への反映はどうか。③住民の利益、利便、サービスや住民負担はどうか。④地域の将来地域の経済や旧市町村はどうなるのか。⑤すでに合

併した全国市町村の現状について調査はしたのか。町とくらしはどうなっているのか。⑥任意合併協議会には、どう臨んで行くのか伺いたい。

〈住民の意見を反映〉



玖珠九重両町合併対策特別委員会（正副委員長会議）

答 今、合併の相手先が決まらなければ計画や財政状況等の判断が出来ないが、相当の財政の違いが出てくると思っています。

全体的に高齢化率が上がって、厳しい財政状況が強いられる事は避けられない。合併で町の暮らしはどうなったかですが、人口の大きさ、町の面積、産業構造というものによって差があり、5年先、10年先でない結果が見にくい。この問題住民が主役で、住民の声を反映した合併論議を進めていきたい。



飛行ルートを変更すべき

藤澤昌由



問 去る3月7日夜発生した自衛隊ヘリコプター墜落事故の原因報告はどうなったか、事

故調査結果がどうであれ夜の暗視訓練が超低空飛行空域である事が判った以上、コースの変更を迫るべきではないか。これが不可能ならば防音工事を要求すべきではないか。

〈まだ報告なし〉

答 原因究明には約4ヶ月かかるようで事故究明の調査飛行、同じコースを同じように通ってどうであったか等を実施したいとの連絡



自衛隊ヘリコプター墜落地点

以降報告はまたありません。国防に関する訓練とはいえ危険な訓練については事前に内容や訓練区域、飛行ルート等を関係自治体に知らせてほしい旨を申し入れています。自衛隊の特殊性から航空法の適用除外で苦慮していますが今後強く抗議していきます。

少子化対策を正面から

問 定住人口1万人、交流人口2万人の町づくり構想を目標値にしているが高齢化率はどうか。現在、国民年金加入者は2193名で約2億6900万円納入して、受給者は3686名で約20億9700万円で掛金の約7・8倍である。これから強い不安を覚える。

結婚対策に努め出生数を高めるため現在進行中の少子化の原因と課題を明らかにしながら子育てをし易い環境づくりに正面から取り組み考えはないか。少子化問題対策会議（仮称）を立ち上げるべきではないか。又NPO法人の支援、特に主

旨の啓発と徹底に積極的に係るべきではないか。児童福祉や介護保険対象外などの要望を知り託児、宅配便、家事手伝い、通院援助など地域の助け合い網を拡げるべきではないか。

〈定住1万へ努力〉

答 高齢化率は現時点で30・41%で、今後とも進んでいくと思われます。昨年実施した結婚大作戦では4組のカップルが誕生し6名が新たに住民登録をし、成果があったと思っています。少子化は我が町だけの悩みではなく全国的な課題でも

あり、エンゼルプラン等で助成制度も実施しているがそれに対応できるだけの体力についても考えさせられ、定住1万をめざして今後とも努力していきたいと思っています。



カップル誕生が期待される結婚大作戦



藤澤美保さん

先日別府で「大分県女性農業委員組織設立総会」が開かれました。女性参画の促進、女性の視点を活かした農業構造の改革、新時代に即応した魅力ある農村づくりを目指して、相互の研鑽や交流を行い女性農業委員の資質の向上を図るための組織です。九重町から私達4人が参加してきました。現在県内には25市町村に38人の女性農業委員がいます。全体の3・8%にしかすぎません。一度に4人も選任していただいたのは九重町だけでした。3人が1地区、2人が8地区、1人だけが16地区です。私達はこの1年の活動の中で女性が4人いることをとても心強く感じてきました。そしてその分、責任の重さはいつも4人の話題の中心となりいろいろ相談しあっています。



農業委員視察研修（鹿児島県）

した。毎月の総会や研修会、視察、農家の意向調査などを通して、農業委員の役割や地域の農業事情が少しわかりかけた所です。
食に対する不安の広まる今の時代、ある意味では農家の明るいきざしになるのではという思いもあります。
個性ある農業をめざし、農業就業人口の6割を占める女性達にもがんばってもらいたいと思っています。



わたしのひとこと

女性農業委員（議会推薦）

期待しています。



吉武喜代子さん

早いもので、農業委員を受けて1年余りが過ぎました。緊張した定例会もしいにほぐれ、何件かの議案もなんとか説明することが出来ました。土地の売買や斡旋にも立ち合わせてもらい良い経験になりました。昨年末に鹿児島県川辺町の集落営農を研修し、今年に入り飯田で遊覧県甲良町の営農の取り組みの講演を聞くことが出来ました。両方とも良き指導者がいて、町民の理解と協力の下に取り組んでおられ、感銘しました。今、国の政策で、中山間地直接支払制度が実施されています。私の地区でも農事組合を作り小規模ながら、共同防除や畦すり等を行っています。水田耕作の請け負いも増えています。高齢化、後継者不足、機械の更新などどここの地区でも

共同化や利用集積は必要不可欠となると思います。地域に合ったやり方で営農しつつ、いつの日か川辺町の様な集落営農になればと思います。農地を守り所得向上と生活に潤いの持てる農家を目指し、これからも頑張りたいと思います。



中山間地域総合ほ場整備事業（平良石工区）

こんな町にしたい

自然に優しい
エネルギーを！

東飯田小学校6年

小幡 まいさん



私は、将来九重町を排気ガスを出さない町にしたいです。その理由は、たくさん緑や川がある、自然が美しく、空気のきれいな町だからです。

私が一番気になるのは、オゾン層の破壊です。他にも酸性雨、温暖化や砂漠化の問題もあります。これらは、すべて人間が作り出した問題だから、人間が解決していかなければなりません。

議員リレー

随想 28

自然と共に



岐部 午二

連日30度を超える真夏日、誰もが雨を待っていた矢先、6月11日少々の雨。田畑、山林は勿論万物にとって恵みの雨となった。

文明、文化がいかに進歩しても天気を左右することは難しい、自然に逆らうことは危険だ。

某日の大分合同（東西南北）の中に、「人間による盗掘、農業等による水質汚濁、森の減少等によるもの

現在、オゾン層の破壊は、フロンガス・排気ガスの規制などにより、少しずつ回復してきました。

排気ガスをへらすためには、ソーラーカーやハイブリットカーなどを、走らせるのが一番いいと思います。でも、学校で学習した時にソーラーカーや電気自動車は、電池の小型化がむずかしいと言う事でした。

大岳にある地熱発電を活かししたり、風力発電所を造ったりして、自然に優しいエネルギーを九重町から発信してほしいです。



第2回 豊かなまちづくり

九重町、地球が、いつまでも美しい星であるために。

か、ごく近い将来、絶滅の危険性が極めて高い種は、ヒメユリ、イヌワシ、タガメなど36種、近い将来姿を消しそうなのがヒメアヤメ、ゲンゴロウ、クマタカなど51種、色鮮やかな花、水生生物、大型鳥類から危険度が増している」とあった。

万物の頂点に君臨してきた人間の世界にも影響がないと誰が保障できよう。身近に成育している動植物の絶滅を抑えられてこそ人間も安全ではなからうか。

生きものの天国で育つ食糧が食されてこそ人も安心である。性急に人間の都合に合わせてすぎる環境改善は自然に逆らうことにならないだろう。

長い目でみた環境保全で自然と共にありたいと願うのは私だけの「おもい」でもあるまい。



食品の不適合表示や偽装問題で、安全性に対する国民の信頼が大きく失われ、関係した企業が倒産や経営の縮小に追い込まれ多額の和解金を支払う等、安全性が強く望まれるなど暗い事が続く中で、日本列島をいまだかつてないサツカー熱で覆い尽くし、かつ世界のサツカーを知る機会を得た意義は大変大きい。さらに国民をあげて「につぼん」「につぼん」と言う功績は素晴らしい。特に中津江村はサツカーW杯で全国的に知られたが、以前は村が大分県のどこにあるか知る人も少なかった。カメルーンの大躍進で毎日のようにマスコミが報道するので山村の小さな村がさらに有名になり、地域の人達が優しく、温かく、思いやりのある対応が非常に印象的でさわやかな気持ちになりました。カメルーンの来村は人々の心をとらえ、村を清浄化し活性化をもたらし、さらに農産加工品の売り上げが大幅に伸びたそう、心温まる事を残してくれました。

(梅水征治)